

□議員名：山田伸幸

1 生活道路の安全について

論点	公園通りが混雑し、セメント町の道路が抜け道として利用され、住民にとって大変危険な状態となっていることをこれまでも指摘してきたが解決されていない。どうなっているのか。
回答	公園通り周辺の土地買収が計画通りに進んでいる。しかし、セメント町の危険性も解決されていない。物理的な対策は講じていない。道路の構造上又は法的な観点から対策を検討する。

論点	車イスで安心して移動できるまちづくり条例の制定はどうか。
回答	市では地域福祉計画の策定に取り組んでおり、その中に必要な事項を盛り込んでいきたい。

2 地域公共交通について

論点	以前あった連携計画は具体的に進められていたが、新計画は後退したとしか思えないものだ。なぜ後退したのか。
回答	2014年に法律が改正され、法律を反映した公共交通網形成計画を新たに策定した。利用しやすい生活交通として機能する公共交通を実現するべく取り組んでいるところである。

論点	産業建設委員会が視察した玉野市では、中央部を往復する循環バスと、地域内を巡るデマンドタクシーを組み合わせ、便利な公共交通を作り上げ、利用も進み補助金もカットできている。参考にしてはどうか。
回答	非常に素晴らしいシステムではあるが、都市によって特徴が違うのでそのまま取り入れるがどうかは難しい。しかし新たな公共交通網の構築は大いに参考になる。

3 中小業者施策について

論点	中小企業振興条例は制定されたが、より具体的な振興計画が策定されていない。市長の中小業者への姿勢が、後退しているのではないのか。
回答	中小企業は、市の経済の重要な担い手として捉えている。市の発展

	が中小企業の成長と共に成し遂げられている。雇用やまちづくりへの貢献で重要な役割を果たしている。
--	---

論点	香川県の丸亀市では、振興計画に沿って具体的な施策が数多く実施されている。本市としても参考にしていく必要がある。
回答	丸亀市の例は、中小企業の立場に立ったものとなっている。そのために有効で分かりやすい施策展開がされている。

論点	住宅リフォーム助成の充実と店舗リフォーム助成の創設を求める
回答	住宅リフォームの予算は引けをとらないと思っている。広く薄く事業を継続していきたい。